

# なな お 会議所 だより

2025 3 No.648

<https://nanao-cci.or.jp>  
mail:office@nanao-cci.or.jp

📍 七尾商工会議所 検索



📱 七尾商工会議所 検索



## CONTENTS

- P1 能登地区商工会議所会頭・副会頭会議
- P2 石川県経営者協会能登地区委員会／サービス業部会／七尾の未来構想委員会／通常議員総会のご案内
- P3 青年部／女性会
- P4 N-As通信／小規模事業者持続化補助金（災害支援枠）第6次公募／北陸電力からのお知らせ 企業復興応援でんき

## 能登の経済復興へ団結 能登地区商工会議所 会頭・副会頭会議を開催



開会挨拶をする杉野会頭

2月18日(火)、能登地区（七尾・輪島・珠洲）の商工会議所会頭・副会頭会議が石川県奥能登総合事務所で開かれました。

冒頭、杉野会頭が「七尾は復興の兆しが見えていますが奥能登の支援も急務です。能登が一つとなり、行政と連携して確実な復興プランを進めていくことが重要です。そのために意見を出し合い、一丸となって支え合いながら取り組んでまいります。」と挨拶しました。

会議では、各地域の現状や課題について「七尾商工会議所は事業再開を望む声が多い一方で、資金や人手の不足が大きな課題である。輪島商工会議所は事業再開率が64%に達しているものの、観光業の低迷や廃業の増加が深刻である。珠洲商工会議所は商店街の廃業や人口減少、住宅再建の遅れなど厳しい状況が続いている」などの報告がありました。

その後の意見交換では「能登の経済復興」をテーマに議論が進められました。珠洲商工会議所からは新たな観光の核としてIRリゾート誘致の提案があり、七尾商工会議所からは地域資源を活かした地方創生の推進や能登全体での連携強化が提案されました。

議論を通じて広域的な連携の必要性や具体的な復興計画と財源の確保が重要であることが改めて確認されました。最後に輪島商工会議所の久岡政治会頭が「地域同士で支え合うことが大切」と語り、年内に具体的な行動を起こす決意を示しました。会議は能登の未来に向けた団結を誓い締めくくられました。



会議の様様

## (一社)石川県経営者協会能登地区委員会 開催

2月25日(火)、(一社)石川県経営者協会能登地区委員会(委員長 杉野哲也)は、七尾商工会議所で18名が出席して開催されました。

委員会では、(一社)石川県経営者協会より能登半島地震による被災地域の令和7年度会費減免、社会の課題解決に向けた研究会の設置、かがやきカンパニー大賞募集など令和7年度事業の取り組みについて説明がありました。

また、出席者から企業の状況や課題、今後の取り組みについて意見交換し、閉会しました。

引き続き、石川県商工労働部経営支援課課長 山出光司氏から「能登復興メニュー」と題して説明がありました。



石川県商工労働部経営支援課長 山出 光司氏

詳細は下記のとおりです。

当所2階大ホールで行われた説明会には、約40名が参加しました。復興元年となる今年、創造的復興に向けた「復興元年」の取り組みについて、なりわい再建の現状や今後の課題や方向性について説明していた

いただきました。被災事業者の生業再建については、ここ1～2年がなりわい再建の正念場を迎えることから、今以上に伴走支援体制を強化するとともに、被災地の現下の課題にもきめ細かく対応していくとのことでした。

また、早期の営業再開を重点とした支援だけではなく、チャレンジ支援補助金の創設や副業人材の活用、起業の促進、事業承継の推進、雇用対策についても解説していただきました。



『能登復興メニュー』説明会の様子

## 令和6年度サービス業部会役員会 第3回を開催

1月23日(木)、サービス業部会役員会(木下義隆部会長)を開催し、7名が参加しました。

冒頭、木下部会長より「コロナ禍の影響や能登半島地震などがあり、思うように事業が叶わなかった。令和7年度は、サービス業部会として大きな事業を一つでも行っていきたい。」と挨拶しました。

サービス業部会の令和7年度事業計画について、協議しました。来年度は、「異業種交流会イベント」開

催をメインとして、活動していくことを全会一致で決定しました。イベントは、2部制とし、1部は多くの人が興味を持っている内容(身近な内容の法律相談など)のセミナーを企画し、2部では、軽食を伴った交流会・名刺交換会を開催、時期は、5月又は6月頃を予定しており、チラシや広報等で周知する事が決定しました。「多くの部会員が参加しやすいイベントを企画していきたい」と意見がまとまり、閉会しました。

## 七尾の未来構想委員会を開催

2月25日(火)、当所にて七尾の未来構想委員会(森山奈美委員長)を開催しました。

「七尾商工会議所 能登半島地震からの地域経済復興指針」を元に、七尾の未来・復興のその先に向かって来年度どのような事業を行っていくか、現状課題や事業案についての意見を出し合い協議を行いました。

特に委員の関心が強かったものが、関係人口のマッチングに関する内容で、次回の委員会で引き続き協議を行うこととなりました。



## 第151回通常議員総会 及び講演会のご案内

当所の第151回通常議員総会が下記の日程で開催します。

今回の通常総会は令和7年度の事業計画・収支予算について審議をします。

また、講演会には七尾市長 茶谷義隆氏をお迎えしますので、併せてご案内申し上げます。

- と き：令和7年3月24日(月)
- と ころ：七尾商工会議所 2Fホール
- 日 程：総 会／14：00～  
講演会／15：00～  
講師：七尾市長 茶谷 義隆氏

## 青年部 2月定例会

# 日本商工会議所青年部 第44回全国大会 ほとめきFUKUOKAくるめ大会に参加

2月14日(金)、15日(土)、当所青年部(会長：田尻大輔)は、第44回全国大会 ほとめきFUKUOKAくるめ大会を定例会として、当所からは21名が参加しました。

今大会は「未来共創～時代を見据え、果敢に挑戦～」をテーマにコロナ禍、昨年(2023年)の能登半島地震を経て「YEGの連携の証」「地域の新たなモデル」未来を描き本質を追究し、地域と共に地域の未来を創造する大会であり、初日から様々なプログラムで行われました。

大懇親会では、趣向の凝らした演出も見られ大変盛り上がり当所メンバーは各地区のメンバーと交流を深めました。

大会2日目の15日(土)は、記念式典、記念講演、記念事業(卒業式)、閉会セレモニーと開催されました。記念式典では、次年度会長予定者の小野知一郎氏(小松商工会議所青年部、第43回全国大会大会長)が所信表明演説を行い、石川県連のメンバーが激励の言葉を贈りました。

記念講演では、テレビでもおなじみの経済ジャーナリストの須田慎一郎氏が『緊急事態発生!!YEGに日本を救えるのか!?!』と題して講演を行い、講演の中で須田氏は「日本の大戸屋の料金を例に挙げ、日本で

1,000円の定食がアメリカでは5,000円である、とても高価だが富裕層だけ食べているのかと思えばそうではない。学生やサラリーマンも食べている、それだけ日本との賃金格差もある」と話し、昨今の国内・国外の経済情勢についても話し、テレビ出演時と同様に歯に衣を着せぬ語り口で講演しました。

最後に今年度全国で約3,000人が卒業を迎えるにあたり卒業式が開催されこれまでの青年部活動を労いました。スペシャルゲストとして歌手の大黒摩季さんがステージに登場し、会場は非常に盛り上がりました。

また、大会期間中は単会メンバーもとより全国のメンバーとの交流もでき、非常に有意義な2月定例会となりました。

今回の全国大会の登録者数は、415単会、9,884名でした。



会場前での集合写真



卒業証書の前での卒業生

## 女性会

# 第4回女性会de ワークショップ 「サクッと幸せスコーン作り教室」開催

2月17日(月)、女性会deワークショップ「サクッと幸せスコーン作り教室」を開催しました。講師には、七尾商工会議所女性会会長の沢野千穂子氏をお迎えし、当女性会の会員をはじめ12名が参加しました。

当日は、沢野氏の丁寧な指導のもと、香ばしく焼き上がるスコーン作りに挑戦。バターの扱い方や材料の混ぜ方など、コツを学びながら和やかな雰囲気の中で実習を進めました。焼き上がったスコーンの外はサクッと、中はしっとりと仕上がりに、参加者からは「自宅でもぜひ作りたい」「優雅なティータイムが楽しめそう」といった声が聞かれました。

料理を通じて交流を深める貴重な機会となり、終始笑顔の絶えない時間となりました。今後も、女性会では楽しく学べるワークショップを企画してまいりますので、ぜひご参加ください。



# 福島県商工会議所女性会連 合会との交流会を開催

2月26日(水)、加賀屋金沢店にて、石川県商工会議所女性会連合会と福島県商工会議所女性会連合会との交流会が開催されました。

当日は、福島県商工会議所女性会連合会から須藤会長と大和田副会長をお迎えし、義援金(目録)の贈呈が行われました。須藤会長からは、「皆さまの顔を拝見できたことを大変うれしく思います。復興にはまだまだ時間がかかりますが、引き続き支え合いながら歩いていきましょう」との激励の言葉が贈られました。

また、交流会終了後には、石川県商工会議所女性会連合会の会長会議が開かれ、令和6年度の決算(案)および令和7年度の予算について議論が交わされました。



## 七尾(N)の明日(As)の経営／経営のなやみ、なんでも、お手伝い

### 小規模事業者持続化補助金（災害支援枠）第6次公募のお知らせ

**対象者** 令和6年1月能登半島地震で、以下のいずれかの被害を受けた小規模事業者  
 ①直接的な被害（自社の事業用資産に損壊等の直接的な被害を受けた場合）  
 ②間接的な被害（令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨に起因して、売上げ減少の間接的な被害を受けた場合）

**補助率** 2/3 **補助上限** ①直接被害事業者：200万円 ②間接被害事業者：100万円

**対象経費** 機械装置費等、広報費、ウェブサイト関連費、展示会等出展費（オンラインによる展示会・商談会等を含む）、旅費、新商品開発費、資料購入費、借料、設備処分費、委託・外注費、車両購入費

■ **公募要領の公開** 3月4日(火) ■ **申請受付期間** 3月21日(金)～4月28日(月)

**お問合せ先** 七尾商工会議所 TEL 54-8888



北陸電力は、令和6年能登半島地震および奥能登豪雨からの復興を支援するため、大規模な被害を受けた地域への移住促進や雇用創出、なりわい再建、被災地支援等を目的に「こころをひとつに震災復興応援でんき」を創設いたしました。「こころをひとつに震災復興応援でんき」は、「企業復興応援でんき」、「移住応援でんき」、「企業投資応援でんき」、「のとGREEN 復興寄付プラン」の4メニューから構成されます。各電気料金メニューは、北陸電力のホームページをご確認ください。

### 震災等からのなりわい再建等を支援する割引メニュー

## 企業復興応援でんき

**割引率** お申込み後、北陸電力との協議がととのい、割引が開始されてから**1年間**、**毎月の電気料金\*を10%(電化メニューは2%)割引** ※燃料費等調整額、再生可能エネルギー発電促進賦課金を除きます。

<b>適用条件等</b>	適用エリア	石川県、富山県、福井県（一部地域を除く）
	適用対象	令和6年能登半島地震および奥能登豪雨により被災し、以下の補助金の交付が決定している低圧・高圧の事業者 <対象補助金> ①なりわい再建支援補助金<石川県・中小企業庁> ②小規模事業者持続化補助金（災害支援枠）<中小企業庁> ③伝統的工芸品産業支援補助金（災害復興事業）<経済産業省> ④営業再開支援補助金<石川県> ⑤中小企業者持続化補助金（災害支援枠）<石川県> ⑥伝統工芸品事業者再建支援事業費補助金<石川県>
	対象メニュー	低圧特別約款および電気標準約款Ⅱ等の契約種別
	必要書類	対象の補助金交付決定通知書の写しおよび自治体が発行する被災証明書等の写し
	適用開始日	2025年4月1日以降

#### お申し込み方法

北陸電力のホームページより、約款等をご確認いただき、専用フォームよりお申込みください。

▶ <https://www.rikuden.co.jp/ryokinmenu/fukkou-ouen.html#fukkou>



メニュー概要  
約款等の確認



申込専用  
フォーム

#### お問い合わせ先

北陸電力株式会社七尾支店  
 〒926-8585 石川県七尾市三島町61-7  
 TEL 0767-53-0204  
 9：00～17：00  
 （土日・祝日、5/1、年末年始を除く）